

第一回関東小学生作文コンクール「海外に紹介したい日本のこと」
〈佳作〉

祭りで蘇る武蔵国

聖徳学園小学校 六年 砂廣 幸寿

僕の町では、毎年5月5日を中心に行われる例大祭「くらやみ祭」があります。

古くは「国府祭」「総社祭」とも呼ばれ、武蔵国の大神をまつる大きな祭りでありました。

武蔵国とは、現在の東京都、埼玉県の大部分と川崎市、横浜市の一部とする広大な地域を指します。ですから祭りには、府中市以外の人々が多勢集まり、府中の町は、活気に満ち溢れます。

現在は、江戸の祭りの方がマスコミでは、よくとりあげられています。江戸城が開かれた時代より先に行われていた「くらやみ祭」の方が古い歴史がある事を知って欲しいです。

実は、祭りのスタートは、4月30日からの「潮盛り」神事が始まります。それから、5月6日までの7日間、府中の町は、タイムスリップして武蔵国の国府として、その大役を果たします。7日間には、古式を忠実に再現した神事や物事が行なわれます。その中でもぜひ紹介したいのが万灯大会です。万灯大会とは、色とりどりの万灯が神社の中を華やかに回ります。傘のように開く万灯は、大きな物で5Mもあります。これを一人で回すことで力強さと迫力、万灯の出来ばえを競い合います。近くで見ると大きい花が咲いたようにとても見事です。また5月5日には、花火の合図とともに、6張りの大太鼓が打ち鳴らされ祭りの最大の見所になります。白丁を身にまとった威勢のいい担ぎ手と大太鼓に導かれ、神社の中からお旅所と呼ばれるところまで渡御します。道は、大人で埋め尽くされ、危険なのでその部分は、毎年ケーブルテレビで見えますがその内、父と一緒に参加してみたいです。6日の日は、「おかえり」と呼び明け方3時に花火と太鼓の合図で町内を巡行した後、神社に還御しま

す。「くらやみ祭」をしらない人は、夜中の花火や太鼓の音にびっくりするそうですが「府中の祭りだよ」と言われて終りだそうです。こんなちよつと変わった府中のお祭りにぜひ遊びに来てください。7日間の中に町内を馬が走ったり、2M近くある太鼓が「ドーン」と鳴ったり、山車のパレードがあったりと、もりだくさんの内容が見る事が出来て楽しいと思います。府中の「くらやみ祭」ぜひ来てください。ちなみに僕は、いつもボイスカウントでバザーをするので声をかけてくれれば案内をします。